

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 義務教育指導課
 担当名: 学びの支援担当
 内線: 6747

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P39	理科教育振興・支援事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費	
事業期間	平成25年度～	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
					分野施策	0501 確かな学力と自立する力の育成		SDGsターゲット	4-1
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>学年が進むにつれて「理科離れ」が進んでいることが危惧されている。そこで、「科学の甲子園ジュニア」の県予選会を実施し、理科好きな生徒の裾野を広げる。</p> <p>「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 △540千円</p> <p>当初の見込みを下回ったこと等による減額</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 449千円</p> <p>「科学の甲子園ジュニア」県予選会を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施</p> <p>予選を通して、県代表2チーム(6名)を決める。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施</p> <p>理科好きな生徒の裾野が広がる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <p>ア 科学技術振興機構との連携</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 「科学の甲子園ジュニア」予選会実施 当初の見込みを下回ったこと等による減額</p>						
2 事業主体及び負担区分 (科学技術振興機構3/4・県1/4)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△540	諸収入	△405					△135	449
現計額	989		741					248	

事業内訳書

事業名	理科教育振興・支援事業		
単位事業名	「科学の甲子園 ジュニア」予選会実施	予算額	△ 540千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	△405	—	「科学の甲子園」県予選実施事業助成金
一般財源	△135	—	
合計	△540	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△62	—	1人あたり謝金額が見込みを下回ったことによる減
旅費	△2	—	執行留保等による減
需用費	△457	—	参加校・人数が見込みを下回ったことによる減
役務費	△19	—	参加校・人数が見込みを下回ったことによる減
合計	△540	—	